

事業の概要

1 任用関係業務

(1) 試験等の概要

平成25年度の職員採用試験は、申込者数（15,363人）、受験者数（11,600人）ともに前年度を下回り、競争倍率も、全試験平均で約7.8倍と前年度を下回った。

また、昇任試験等においては、申込者等10,183人、受験者等10,009人で、前年度に比べると受験者等で213人の減少となっている。

なお、採用・昇任の実施状況は、総括表及び別表のとおりである。

(2) 採用試験・選考の実施状況

ア 職員採用Ⅰ種試験

平成22年度から開始した行政（神奈川チャレンジ早期枠）は、第1次試験を4月7日（日）に神奈川大学横浜キャンパスで行い、5月10日（金）に51人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は3,974人で、前年度に比べ748人（23.2%）増加した。

受験者は2,887人で、前年度に比べ498人（20.8%）増加し、受験率は72.6%と1.5ポイント減少した。

合格者は前年度に比べ9人（17.6%）増加し、競争倍率は46.8倍から48.1倍へと上昇した。

また、行政（神奈川チャレンジ早期枠）以外は、第1次試験を6月30日（日）に日本大学湘南校舎で行い、8月30日（金）に170人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は、2,513人で、前年度に比べ165人（6.1%）減少した。これを行政、技術系の別でみると、行政は2,108人で156人（6.9%）減少し、技術系は405人で9人（2.2%）減少した。

受験者は、行政、技術系合わせて1,298人で、前年度に比べ41人（3.1%）減少し、受験率は51.7%と1.7ポイント上回った。

また、合格者は前年度に比べて12人（6.6%）減少し、競争倍率は7.4倍から7.6倍へと上昇した。

イ 職員採用Ⅲ種試験

本年度は、第1次試験を9月29日（日）に日本大学湘南校舎で行い、11月15日（金）に31人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は212人で、前年度に比べて105人（33.1%）減少した。

受験者は132人で、前年度に比べ46人（25.8%）減少したが、受験率は62.3%と6.1ポイント上回った。

また、合格者は前年度より6人多い31人で、競争倍率は7.1倍から4.2倍へと低下した。

ウ 公立小中学校等事務職員採用試験

(ア) Ⅰ種試験

本年度は、第1次試験を6月30日（日）に日本大学湘南校舎で行い、8月30日（金）に20人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は219人で、前年度に比べ33人（13.1%）減少し、受験者は100人で、35人（25.9%）減少した。

受験率は45.7%と前年度に比べ7.9ポイント下回った。

また、合格者は前年度に比べ9人（47.4%）減少し、競争倍率は7.1倍から10倍へと上昇した。

(イ) Ⅲ種試験

本年度は、第1次試験を9月29日（日）に日本大学湘南校舎で行い、11月15日（金）に18人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は156人で、前年度に比べ34人（27.9%）増加し、受験者は117人で、39人（50.0%）増加した。

受験率は75.0%と前年度に比べ11.1ポイント上回った。

また、合格者は前年度に比べ6人（50.0%）増加し、競争倍率は前年度と同じ6.5倍だった。

エ 免許資格職職員採用試験

(ア) 大学卒業程度（福祉職(男性)・(女性)、管理栄養士、薬剤師、獣医師、保健師、保健師(警察本部))

本年度は、第1次試験を6月30日（日）に日本大学湘南校舎で行い、8月30日（金）に38人を採用候補者名簿に登載した。

(イ) 短期大学卒業程度（栄養士）

本年度は、第1次試験を9月29日（日）に日本大学湘南校舎で行い、11月15日（金）に6人を採用候補者名簿に登載した。

オ 経験者採用試験

本年度は、総合土木、建設技術（建築）、機械、電気の4区分において、第1次試験を6月30日（日）に日本大学湘南校舎で行い、8月30日（金）に18人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は186人、受験者は115人で、受験率は61.8%であった。また、競争倍率は6.4倍であった。

カ 警察事務職員採用試験

(ア) I種試験

本年度は、第1次試験を6月30日（日）に日本大学湘南校舎で行い、8月30日（金）に20人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は470人で、前年度に比べ180人（27.7%）低下し、受験者は252人で、前年度に比べ99人（28.2%）低下した。

受験率は53.6%と前年度に比べ0.4ポイント下回った。

また、合格者は前年度に比べ8人（28.6%）減少し、競争倍率は12.5倍から12.6倍へと微増した。

(イ) III種試験

本年度は、第1次試験を9月29日（日）に日本大学湘南校舎で行い、11月28日（金）に13人を採用候補者名簿に登載した。

申込者は185人で、前年度に比べ23人（11.1%）減少し、受験者は147人で、8人（5.2%）減少した。

受験率は79.5%と前年度に比べ5.0ポイント上回った。

また、合格者は前年度に比べて7人（35.0%）減少し、競争倍率は前年度の7.8倍から11.3倍へと上昇した。

キ 警察官採用試験

本年度の警察官採用試験は、県内試験を2回行うとともに、県外共同試験を1道12県で実施した。

申込者は、県内試験では7,099人と前年度に比べ918人（11.5%）減少した。

県内試験の受験者は、5,649人で前年度に比べ702人（11.1%）減少し、受験率は79.6%と0.4ポイント上回った。

合格者は、県内県外合わせて1,105人（県内1,043人・県外62人）で前年度より120人増加した。（県内149人増・県外29人減）

ク 採用選考

本年度における採用選考は、組織上の職、医師等の職又は職種で実施した。

選考人員は、486人（任命権者に委任した分を除く。）で、そのうち192人が合格した。選考の実施回数は延べ68回（身体障害者採用選考を含む。）であった。

身体障害者採用選考については、身体障害者に雇用機会を提供することを目的として、事務職員について10月20日（日）に実施した。

(3) 昇任試験・選考等の状況

ア 警察官昇任試験

巡査部長昇任試験では受験者3,470人、合格者515人で合格率14.8%、警部補昇任試験では受験者3,670人、合格者265人で合格率7.2%、警部昇任試験では受験者2,358人、合格者88人で合格率3.7%であった。

イ 昇任選考

昇任選考の実施状況は、総括表及び別表のとおりである。

ウ 転任の能力実証

転任にかかる能力実証は、別表のとおり該当がなかった。

エ 臨時的任用の承認

本年度における承認状況をみると延べ782人で、これを職種別にみると、臨時主事が201人でその他の職が581人であった。

オ 任期付研究員・任期付職員の採用の承認

本年度における承認状況は、特定任期付職員の新規が2人、一般任期付職員の新規が46人、更新が3人であった。

(4) 募集・広報活動等

ア 募集・広報活動

多彩な人材の確保を図るため、本年度も積極的な受験者確保対策を行った。

(ア) リーフレット、日程案内の作成、配布

リーフレット及びA4サイズの日程案内を作成、配布した。

(イ) 大学等における採用試験説明会への参加

大学等における採用試験説明会に延べ49回出席した。

(ウ) 高等学校等進路指導担当者に対する説明会の開催

高等学校等進路指導担当者を対象に、Ⅲ種試験（行政・公立小中学校等事務職員・警察事務）についての説明会を5月27日(月)に川崎市役所で開催した（参加者54校）。

(エ) 企業合同説明会への参加

企業合同説明会に3回参加した。

(オ) 採用ガイダンス、個別相談会の開催

事務系及び技術系の採用ガイダンスを12月1日(日)に県職員キャリア開発支援センター、同月12日(木)に本庁舎大会議場で開催した(参加者479名)。また、県庁の一般公開日にあわせ、1月25日(土)に個別相談会を開催した(参加者100名)。

(カ) 採用試験説明会・相談会の開催

平成26年度採用試験についての説明会・相談会を3月7日(金)に県立音楽堂、同月11日(火)に県職員キャリア開発支援センターで開催した（参加者1,338名）。

(キ) インターネット等による情報提供

インターネットや携帯版職員採用ホームページ及び職員採用Facebookにより情報提供を行った。

イ 試験及び選考の成績の開示

採用試験及び選考における成績（順位、総合得点等）について、個人情報保護条例第25条（簡易開示）に基づき開示を行った。本年度の開示請求は、Ⅰ種試験等が545件、Ⅲ種試験等が12件、警察官採用試験が538件、職員採用選考が15件の計1,110件であった。